

◇ 新潟市都市計画基本方針 全体構成（素案）

第1章 目的と位置づけ

1. 目的
 - ・市の最上位計画である総合計画に掲げる都市像の実現
 - ・市民が「暮らしやすさ」を実感できる都市づくりの実践
2. 位置づけ
 - ・都市計画法に基づく市の都市計画の基本的な方針であり、総合計画で位置づけられた分野別計画のうち、都市計画によるまちづくり分野を受け持つ基本方針
 - ・新潟市総合計画、新潟県の区域マスタープランに即す
3. 基本条件
 - 目標年次：本方針は長期的な展望に立った指針となるものであるため、目指す都市の姿としては概ね20年先を見据えます。その前提のもと、目標年次としては2031年度とします
 - 対象とする区域 / ○都市計画によるまちづくりの基本姿勢
4. 構成
 - ・「全体構想」、「区別構想」、「運用・推進方策」の3つで構成

第2章 新潟市を取り巻く状況

1. 新潟市の概要
 - (1)位置及び地勢
 - (2)沿革や各区の個性
2. 新潟市の現状
 - (1)人口 【人口・世帯数の推移 / 居住誘導区域内人口の推移 / 人口動態の推移 など】
 - (2)土地利用 【土地利用状況 / DID区域の推移 / 田園集落づくり制度の実績 など】
 - (3)都心 【都心地価の推移 / 都心居住人口の推移 / 都心歩行者通行量の推移 など】
 - (4)公共交通 【公共交通利用者数推移 / 公共交通カバー人口率 / 交通分担率 など】
 - (5)産業 【産業別就業者割合 / 製造品出荷額推移 / 小売業の年間商品販売額推移 / 新潟港外貨コンテナ取扱量推移 / 観光入込客数推移 / 農家数推移 など】
 - (6)防災 【洪水・津波ハザードマップ など】
 - (7)都市経営 【公共施設の分布・保有面積 / 新潟市歳入歳出の推移 など】
 - (8)暮らし 【保育所数・特養数 / 空き家数・率 / 二酸化炭素排出量の推移 / 都市公園等の推移 / 居住地についての不満や意向 など】
3. 都市をめぐる動向など
 - (1)人口減少、少子・超高齢化 【コンパクト+ネットワーク / 都市経営的な視点】
 - (2)持続可能な都市づくり 【SDGs / 環境への配慮（ゼロカーボンシティ）】
 - (3)グローバル化の進展 【経済のグローバル化 / 産業活性化・交流人口の拡大】
 - (4)Society5.0の実現 【ICTの進展 / スマートシティの実現】
 - (5)価値観の多様化 【多様なニーズ（働き方・暮らし方） / ダイバーシティ】
 - (6)高まる不確実性 【新型コロナ / 頻発化・激甚化する自然災害 / 変化への適応】
 - (7)都心まちづくりの転機 【拠点性の向上 / 公民連携のまちづくり / 都心から全市へ】

第3章 基本的な考え方（理念）と目指す都市の姿

1. 基本的な考え方（理念）
 - 持続的に発展する都市 —全市レベルの理念—
 - 誰もが暮らしやすい個性ある地域 —地域レベルの理念—

2. 目指す都市の姿

—参考資料3による—

- 市街地と田園・自然の共生・共鳴
市街地拡大は原則抑制しつつ、市街地と田園・自然が共生・共鳴する関係を維持
- 都市・地域の拠点形成
都市機能を集積し、都市・地域の拠点機能を強化
- 拠点の連携
道路、公共交通等のネットワークを強化し、拠点間の連携・交流を強化



第4章 都市・地域づくりの方針

- 方針1. 田園・自然と市街地が共生・共鳴する都市 新潟
- 方針2. 国内外とつながる日本海拠点都市 新潟
- 方針3. 多様な拠点がネットワークでつながる都市 新潟
- 方針4. 活力と魅力あふれる産業・交流都市 新潟
- 方針5. 安全で安心して暮らし続けることができる都市 新潟
- 方針6. それぞれの地域で日常の暮らしができるまちづくり
- 方針7. 地域の個性を感じるまちづくり
- 方針8. 快適な住環境で暮らすことができるまちづくり

※方針ごとに、目標、取組方針、関連するSDGsについて記載



第5章 区別構想

- 区の概要
- 現状・課題
- 区づくりの方向性

第6章 実現に向けた取り組み

- 実現に向けた取り組み
都市計画分野における3つの制度、主要なプロジェクト（都心のまちづくり、鳥屋野潟南部等）
- OPDCAによるマネジメント
- 多様な主体との連携・協働